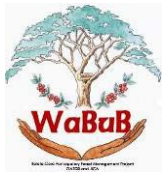


WaBuB PFM News

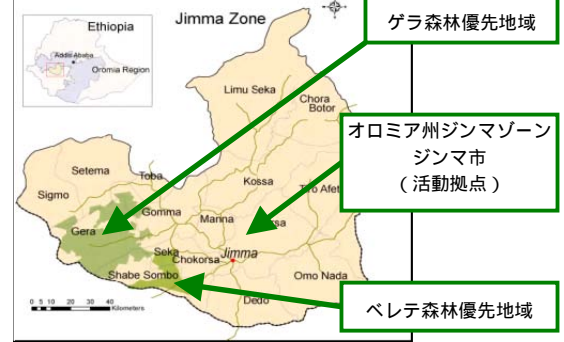
~ Respect Local People's Knowledge for Sustainable Forest Management ~



JICA 技術協力プロジェクト

エチオピア ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2

2008年9月9日発行 (第21号)



農民の学校WFSの新規開校に向けた準備をしています！

昨年の10月から開始された55の農民の学校 WaBuB Field School (WFS)は、識字率の低さが影響してメンバーの能力向上が未だ卒業に十分でない見極め、2か月延長して11月末まで行うこととしました。しかし、2年目の新規WFSについては、予定通りに10月から開校する予定で、昨年も赴任したケニアからのタイタス専門家の支援も得ながら、新たに配属された村落開発普及員達へのWFS研修を行うなど、着々と準備を進めています。今号では、主にそのWFS新規開校に向けた準備の様子をお伝えします。

新たに50人のWFSファシリテーターを養成！

10月から始まる新たなWaBuB Field School (WFS)の開校に向けて、対象地に新規に配属された村落開発普及員(DA)を主な対象としたファシリテーター研修を行いました。今年新たに配属されたDAもWFSを見たことはあるものの、「まだその本質がわかってないのだ！」ということで、2週間にわたるWFS研修が実施されました。昨年に引き続いて講師として支援に来たタイタス専門家は、世界各国でWFSの研修を実施してきた実績があります。あまり英語が得意でないDAでも、彼の経験豊富な、面白くわかりやすい講義にのめり込んでいました。

タイタス専門家は、WFSファシリテーターの奥義を隠すことなく伝授してくれました。ここで少しだけその奥義をご紹介します・・・「農民は知っているのだ、農民の意見に心を傾けて、やりながら学ぶのだ、あなたが遅刻をすると農民もそれを真似するよ、あなた達は先生ではなくファシリテーターになるんです、上下関係はありません...」など。WFSは人間力を試しているようです。



タイタス専門家の講義

また、実際に開始するときのメンバーの選び方、農民との連携の重要性などの注意事項や学習農地の作り方、作物の計測方法などWFSの運営に必要な全てをDAは2週間で猛勉強しました。後半は少したびれた様子のDAもいましたが、修了式ではここぞとばかりに劇や唄を披露していました。そして全員が合格書を受け取った修了式の模様は、エチオピア国内TV局で放映の予定です！



修了式後の記念撮影

これから1年間、熱いWFSの闘いが始まります。

農民は真剣なのだ～！

「農民ファシリテーター候補」として選考された109名が3月に養成研修を受け(第16号参照)、その後、これまで、村落開発普及員と協力しながら、各集落でのWFSを実施してきました。その間、普及員の適切な支援を得ながらもますます自信と能力を発揮するようになった農民ファシリテーターもいれば、逆に、普及員が全く来なくなり崩壊寸前のWFSもありました。今回、その農民ファシリテーターが自分達自身で新たなWFSを実施できるかどうか、そのために必要な能力と意欲がしっかり醸成されているかどうか、「正式な農民ファシリテーター」の選考試験を行いました。

農民ファシリテーターを努めるためには、マニュアルをしっかりと読み、実施した毎週のセッションについてレポートができる「読み書き」の能力は必須です。そこで、まずWFS全般についての基本知識を問う筆記試験を実施しました。こうした試験を受けるのは何十年振りなのでしょう。誰もが真剣な顔で答案用紙とにらめっこしながら、隙あらば、隣の答案をちらちらと盗み見ている輩もいます。試験の後は、各自に対してインタビューを行い、これまでのWFSを実施した感想や、自分でやってみたくどうか意志を確認しました。



真剣に筆記試験に取り組む農民ファシリテーター達

こうした試験を通じ、67名の農民ファシリテーターが選考されました。9月に復習のためのWFS研修を受けた後、10月から普及員と同じようにWFSを実施していくこととなります。基本的に2人1組で実施することとしたので、約40の農民ファシリテーターによるWFSが開始される予定です。また、この日はWaBuB代表者と共にWaBuB Part 2(第19号参照)のオリエンテーションも受けてもらい、今後、WFSのみでなくWaBuBの実施においても、農民を引っ張っていく役割を担うことをねらいとした支援を行っていきます。

WaBuB は、現地オロモ語で(地域住民により組織される)森林管理組合の略称、PFM(Participatory Forest Management)は参加型森林管理の略称です。よって、WaBuB PFMは、本プロジェクトが確立・普及を目指すWaBuBによる参加型森林管理方法を意味します。

